

「金沢マラソン 2023」におけるボランティア活動 ～城北市民運動公園応援ステージの運営・サポート～

団体名 ● 金沢星稜大学地域連携センター

はじめに(背景・目的・目標)

全国的にスポーツによる地域活性化への取組が推進されており、金沢市でもマラソン推進課を中心に金沢市のスポーツ政策の大きな柱として市民参加型「金沢マラソン」が2015年から実施され、今回で第9回を迎えた。本学は同年、活力ある個性豊かな地域社会の形成・発展及び地域を担う人材の育成・交流を寄与することを目的とし、金沢市と連携協定を締結した。スポーツ振興は、その連携事項のひとつであり、本学では第1回からボランティア学生を送り出している。

「金沢マラソン2023」では、給水・給水所準備に43名、応援ステージに20名の学生が参加した。本稿では、城北市民運動公園「応援ステージ」における活動について記述する。

活動内容

「金沢マラソン2023」の城北市民運動公園「応援ステージ」については以下のとおりであった。

- (1)日時：2023年10月29日(日) 9:30～15:00
- (2)場所：城北市民運動公園内
- (3)参加学生：20名
- (4)活動内容：応援ステージの運営
(応援出演団体のサポート)
及び沿道応援

金沢マラソンでは、応援ステージ会場が2ヵ所設定(西部緑地運動公園及び城北市民運動公園)されており、それぞれ金沢学院大学及び金沢星稜大学学生がその運営を担っている。

ボランティアに応募した経済学部経済学科から1名、経営学科から1名、人間科学部スポーツ学科から2名、そして応援ステージに出演した本学ダンスサークル(Highway Star)から16名が参加した。

学生たちは、応援ステージの設置準備を始め、出演団体の受付や誘導やサポート等連携してステージ運営を行った。

成果、結果の考察

以下はボランティア学生の感想の一部抜粋する。

ボランティアとして支えたい私たち、ダンスや太鼓で、声かけで応援したい人たち、マラソンを走りきりたいランナーなど多くの人の熱意が集まった日だったと思います。そのようなマラソンを支える一人になれたことが嬉しかったです。

今回、応援ステージのボランティアをして、マラソンはランナーから元気をもらい、そしてそれを応援する人たちからも元気をもらえるお互いにすごい力があることに驚きました。ダンスサークルの方と一緒に応援ステージにあがり、応援をしました。ランナーが手を振ってくれたり、拍手してくれたらしたことがすごく気持ちの良く、この関係はすごいと感じました。

「応援ステージ」運営を通して、学部も学年も違う学生たちが協力し合うことで、マネジメント力の向上と地域貢献をした達成感を学生たちへ醸成することができた。

今後の課題、展望

学生がより実践的な体験を行うことができるよう、ボランティアリーダーを育成し、行政や関係団体と交渉できるような環境整備が必要である。

